

❀ 船木典子副看護部長定年のご挨拶 ❀

定年を迎えるにあたり、多くの皆さんに助けられ大過なく過ごすことができました。感謝しております。私は1984年に4-4婦人科病棟に就職し、2-4小児科、11-2内科Ⅱ、2-3歯科病棟、外来治療・治験ナースセンター、歯科外来、看護部を経験させていただきました。副看護師長となった小児科病棟では、看護目標が患者さんの目標になっているか、目標の結果を記録に残すことなどを当時の看護師長と共に学びました。患者参加型看護を実践する訓練になったと思います。北大病院の看護には、患者中心の看護、個別性のある看護と表現されていた時代から、患者参加型看護が脈々と継承されていると思います。どんな時代でもこの患者中心の看護、医療の考え方は変わらず、自分の成長を励ましてくれるものだと感じます。これからも皆さんが患者中心の看護を実践し成長し続けられることを願っています。



キャリア支援室の1年間



みんな頑張った1年間!



コロナ禍で時期を変更した研修もありますが、今年度も集合で全ての研修を終了することができました。新人看護職員に全ての研修についての総合評価を調査した結果、「患者主体で考えることの大切さを学べた」「看護師として基本的態度を学べた」「新人看護職員同士で助け合い、学びを共有し成長できた」の項目に「とてもそうである」と答えた受講生が80%を超え高い評価でした。また、60%の受講生が「研修が実践に結びつき、臨床実践能力が向上できた」に「とてもそうである」と回答していました。みなさんの頑張りが実を結び、大きな花を咲かせていくことを期待しています。1年間本当によく頑張りました！これからも自分らしく成長して行って下さい。応援しています。今後も悩んだり、壁にぶつかった時は部署の先輩、そしてキャリア支援室にいつでもご相談下さい。「いつもあなたのおそばにキャリア支援室」をお忘れなく！！